

福祉だより

第69号

令和元年9月30日発行

社会福祉法人 泊村社会福祉協議会



令和最初の「小樽・後志社会福祉大会」を 泊村で開催



8月23日(金) 令和最初となる小樽・後志社会福祉大会(第73回)を泊村公民館にて開催致しました。本会が主体となって準備・運営にあたり、牧野浩臣村長をはじめ、後志地区全体から総勢287名の来賓や関係者の出席をいただきました。当日は、「表彰」「アトラクション」「記念講演」などが行われ、アトラクションには泊村を代表して、藤間流喜久路会 山下悠美子さん、沼崎順さんから素晴らしい日本舞踊をご披露していただきました。

●社会福祉法人 泊村社会福祉協議会

〒045-0202 古宇郡泊村大字茅沼村500番地の2
TEL 0135-75-3761 FAX 0135-75-3763
メールアドレス tomari-syakyo@ak.wakwak.com
ホームページ <http://www.tomarimura-syakyou.or.jp>

●泊村社会福祉協議会 訪問介護事業所

TEL 0135-75-3010 FAX 0135-75-3763

●泊村在宅老人デイサービスセンター

TEL 0135-75-3363 FAX 0135-75-3763

ワークキャンプを実施しました

8月29・30日 2日間にわたり、泊中学2年生11名を対象に、福祉の職場を体験し、「福祉」について理解を深めてもらうことを目的としたワークキャンプを実施しました。

1日目はむつみ荘職員から「高齢者とのコミュニケーションの取り方」について説明を受け、その後 デイサービスセンターとむつみ荘の各グループに分かれて利用者さんと交流を図りました。レクリエーションや塗り絵を一緒に楽しんだり、漬物の作り方を教えてもらったりと高齢者の方と楽しく交流を深めました。



2日目は本会から「地域で支え合うこと」について説明し、地域包括支援センターと共に「認知症サポーター養成講座」を開きました。「認知症とは何か」「認知症の人に何ができるのか」を生徒一人ひとりが考え、認知症について理解を深めました。その後 屋外で車いす体験を実施し、むつみ荘職員から車いす使用時の注意点を学びました。生徒同士がペアとなり、スロープや小さな段差なども使って、実際に車いすに乗り、また介助する体験を交代で行いました。

2日間をとおして、生徒の皆さんから、それぞれの感想を大きな模造紙にまとめたレポートが、本会とむつみ荘に届きました。



社会を明るくする運動を開催しました

7月24日(水) 公民館で泊村民を対象とした、第69回社会を明るくする運動 ～泊村民ミニ集会～ を開催し、24名のご出席がありました。泊駐在所 塚田所長から、岩宇地区の犯罪・事故状況について講話をいただき、参加者は犯罪・非行の防止や地域の安全に対する理解を深めました。その後、参加者による意見交換を行い、青少年の非行防止や、犯罪のない地域社会を築きあげていくことを話し合い、各課題を共有する機会となりました。





団体活動報告

老人クラブ連合会 令和元年度南後志地区 管内小ブロック研修会

令和元年度南後志地区管内小ブロック研修会



7月26日(金) 南後志地区老人クラブ会員を対象とした、老人クラブ 南後志岩宇ブロック研修会に泊村老人クラブ連合会より会員15名が出席しました。講話「健康寿命をのばしましょう」、「いきいきクラブ体操」等、介護予防について参加者は関心を深めました。各老人クラブ活動報告では、「サロン活動の会員拡大に向けて」と題し、泊村老人クラブ連合会 小川晃会長が活動報告を行いました。泊慶寿会が開催している「カフェとまり」の活動を、笑いを誘いながら報告し、会場から大きな拍手を受けていました。



身体障がい者福祉協会

後志身体障がい者福祉大会・スポーツ大会

9月3日(火) 積丹町で第56回後志身体障害者福祉大会、第49回 同スポーツ大会が開催され、泊村身障協会より会員10名が参加しました。福祉大会では、泊村から3名の方が表彰を受け、受賞者を代表して金田幸雄副会長が謝辞を行いました。午後から実施された同スポーツ大会では、玉入れ、お玉リレーなどの種目で各市町村が点数を競い合い、泊村身障協会は、参加人数が少ない中で大健闘し、総合3位という結果を取ることができ、会員の皆さんの連携も一層深まりました。



永寿会 元気に遊んで食べる会



9月6日(金) 渋井地区老人クラブ永寿会主催の「元気に遊んで食べる会」が開催され、会員18名が参加しました。当日は地域包括支援センターの職員も出席し、午前中にはお笑いDVDの鑑賞や、手作り工作を行いました。手作り工作では、色紙で花を作ったり、折り紙の輪をつなげて、長い色とりどりの飾りを作成しました。お昼は手作りのカレーライスを食べ、会員の皆さんは会話を楽しみながら、食事を取りました。午後は、パン食い競争などのゲームを楽しみ、終始笑いの絶えない1日となりました。

泊村福祉まつり『ふれあい広場』を開催します

毎年恒例の泊村福祉まつり「ふれあい広場」を、今年は10月19日(土)総合福祉センターを会場に開催することとなりました。本年度も実行委員会が主催とし、昨年の泊村、むつみ荘、泊村社会福祉協議会に加え、茅沼診療所、老人クラブ連合会も実行委員として参加いただけることになりました。内容は、村民サロン(喫茶)・介護寸劇・カラオケ発表・ふまねっと体験・提供品バザー・飲食コーナー・お楽しみ抽選会・子ども工作コーナー・事業所紹介パネル展示・健康相談などを予定しています。また、総合福祉センター発着の巡回バス運行も準備しますので、多くの村民の皆さんの参加をお待ちしております。時間は、午前10時～午後2時の予定です。フリーマーケットの出店、カラオケ発表への参加も募集していますので、ご希望の方は泊村社会福祉協議会 ☎75-3761までご連絡ください。なお、事業詳細やバスの巡回時刻などにつきましては、泊村広報誌10月号の折り込みチラシをご確認ください。



赤い羽根募金ご協力のお願い

今年も10月から12月末までの間、恒例の赤い羽根共同募金運動が始まります。泊村共同募金委員会が委嘱した募金委員さんが、各ご家庭を訪問し、募金の協力をさせていただきます。運動で集まった募金につきましては、各老人クラブ団体への助成金、泊村での福祉事業、広域的な課題解決に向けた活動費等の地域福祉普及のために有効に活用されますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。また、セイコーマート・宇留間商店・潮香荘・平安荘の各施設より温かいご協力をいただき、募金箱を設置しておりますのであわせてご協力よろしくお願いいたします。



あなたの町の募金は、
あなたの町のために使われています。

じみんつれあいをいっしょにする

赤い羽根共同募金

愛のふれあい訪問活動が始まります

10月より「愛のふれあい訪問活動」を来年の3月まで計6回実施致します。対象者は「70歳以上の独居高齢者」「75歳以上の高齢者」となっております。おおむね午後3時頃から、ボランティア・職員が対象者の家にお弁当を届けに行きますので、ご自宅にてお受け取りください。実施日は村内放送でもお知らせいたします。不在となる場合は、泊村社会福祉協議会 ☎75-3761 までご連絡ください。

10月以降に誕生日を迎え、対象年齢に到達された方は、次年度からの対象となりますのでご了承ください。

メールアドレスが変更になりました

とまりネットの廃止に伴い、本会のメールアドレスが変更となりました。ご連絡いただく場合、下記の新メールアドレスをご登録ください。

E-mail:
tomari-syakyō@ak.wakwak.com

